

い し じ ぞ う 石 地 蔵

●所在地／市場大道寺 ●所有者／個人

この石地蔵は鎌倉中期の^{けんじ}建治年間（1275～1277）頃の作と推定される一石^{いっせき}一尊像である。総高 89cm・像の高さ 73cm・幅 56cmで安山岩^{あんざんがん}の座像である。

手法は厚肉彫りで、手は衣内印^{えないいん}を結び、真言引導^{しんごんいんどう}の型で単弁蓮華台座^{れんげ}上に座し、瞑想^{めいそう}の型である。光背^{こうはい}は頭光・身光を巧みに薄肉の手法で現した立派な石仏である。

